



# 平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員グループ管理担当 (氏名) 土井 義人 TEL 03-6403-5710

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年8月期第1四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成26年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	9,959	23.3	765	69.8	804	67.1	316	25.7
26年8月期第1四半期	8,079	5.9	450	△ 26.1	481	△ 25.0	251	△ 39.4

(注) 包括利益 27年8月期第1四半期 501 百万円 (68.6%) 26年8月期第1四半期 297 百万円 (△35.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第1四半期	16.69	—
26年8月期第1四半期	13.27	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第1四半期	26,655	13,206	47.7
26年8月期	25,926	13,195	48.5

(参考) 自己資本 27年8月期第1四半期 12,713 百万円 26年8月期 12,574 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	25.00	—	30.00	55.00
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期 (予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,122	20.5	2,216	10.1	2,276	0.8	1,212	△ 0.1	63.12
通期	43,685	15.8	4,946	15.7	5,066	15.9	2,668	10.1	138.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

なお、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したKOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE.LTD、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE.LTD、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE.LTD 他9社の計12社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更    | 無 |
| ④ 修正再表示         | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期1Q	19,200,000株	26年8月期	19,200,000株
27年8月期1Q	245,360株	26年8月期	245,280株
27年8月期1Q	18,954,680株	26年8月期1Q	18,954,802株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
（会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示）	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等）	9
（重要な後発事象）	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済において、円安の進行は、貿易収支の赤字を拡大する反面、輸出の堅調さと相俟って企業収益の改善には貢献するものの、消費税増税後の個人消費の落ち込みにとっては物価上昇の重しとなり、その回復を遅らせております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 【カラオケ】

顧客獲得競争が一層激しくなりつつある中、店舗網の拡充により積極的に顧客を獲得していくことと、そして新しい楽しみ方と新しいサービスを考案し提供していくことにより市場の活性化を促すことを、重要と考えております。

「カラオケ本舗まねきねこ」を中心に積極的に店舗展開を行うとともに、「すきっと会員」とワンカラの「シンガーズクラブ会員」の拡大を図ることにより顧客の固定客化も進めております。

自社開発の「すきっと」においては、搭載する各種アプリを増やしていくことと、コンテンツホルダーとのコラボレーションなどにより、カラオケルームにおける楽しみ方の幅を広げられるように努めております。

当第1四半期連結会計期間末の国内店舗数は、前連結会計年度末比9店舗増加（新規出店11店舗）し375店舗となりました。リニューアルは12店舗行いました。

この結果、カラオケセグメントの売上高は51億71百万円（前年同期比25.9%増）、セグメント損失は1億31百万円（前年同期比1億2百万円損失額減少）となりました。

#### 【カーブス】

一人一人が正しい運動方法を身につけてそれを習慣として継続できること、そしてそのような仲間を既存の会員と一緒にあって着実に増やしていくこと。急速に進展する高齢化社会において、このような活動を行うことにより未病率の改善や健康寿命の延伸に少しでも貢献できればと、事業の拡大に努めております。

そのために、より顧客視点に立った通いやすい店舗網を構築し、一つ一つのクラブを所属する会員にとって成果実感が溢れそしてそれを喜び合えるようなコミュニティに創り上げていくことを目指して、本部と加盟店が一体となって努めてまいります。

当第1四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数は、前連結会計年度末比43店舗増加（増加率2.9%）し1,518店舗（内グループ直営店50店舗）に、会員数は30千人増加（増加率4.5%）し671千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は43億59百万円（前年同期比22.3%増）、セグメント利益は10億99百万円（前年同期比34.7%増）となりました。

#### 【温浴】

カラオケ事業で培った店舗営業力（接客サービス力）の発揮と、更なる省エネ化の実現により、一層の収益性の改善と業容の拡大に努めてまいります。カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウ、特に社員教育面での人材育成システムを活用し、固定費削減手法を駆使して、温浴施設経営の再生に取り組んでおり、店舗展開を目指しております。

この結果、温浴セグメントの売上高は3億49百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント損失は73百万円（前年同期比4百万円損失額減少）となりました。

#### 【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は78百万円（前年同期比35.4%増）、セグメント利益は30百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第1四半期連結累計期間の売上高は99億59百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益7億65百万円（同69.8%増）、経常利益8億4百万円（同67.1%増）、四半期純利益は3億16百万円（同25.7%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億29百万円増加し、266億55百万円（前連結会計年度末比2.8%増）となりました。

#### （流動資産）

流動資産は3億58百万円増加し101億71百万円（同比3.6%増）となりました。これは主に、現金及び預金が3億52百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は8億15百万円増加し109億72百万円(同比8.0%増)となりました。これは主に、建物及び構築物が5億9百万円および車両運搬具及び工具器具備品が3億2百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は11億11百万円増加し22億97百万円(同比93.8%増)となりました。これは主に、のれんが11億47百万円増加したことなどによるものです。

投資その他の資産は15億56百万円減少し32億14百万円(同比32.6%減)となりました。これは主に、関係会社株式が16億89百万円減少した一方で敷金及び保証金が2億16百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は3億71百万円増加し164億83百万円(同比2.3%増)となりました。

(流動負債)

流動負債は54百万円減少し83億23百万円(同比0.7%減)となりました。これは主に、未払法人税等が7億47百万円減少した一方で、未払金が4億68百万円および1年以内返済予定の長期借入金が1億64百万円増加したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は7億73百万円増加し51億25百万円(同比17.8%増)となりました。これは主に、長期借入金が6億16百万円および資産除去債務が1億27百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は7億18百万円増加し134億49百万円(同比5.6%増)となりました。

(純資産)

純資産は11百万円増加し132億6百万円(同比0.1%増)となりました。これは主に、利益剰余金が26百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年10月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示）

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用）

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号平成25年12月25日）を当第1四半期連結会計期間より適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,207,439	5,560,114
受取手形及び売掛金	1,825,313	1,883,238
商品	804,419	692,314
原材料及び貯蔵品	146,023	167,183
繰延税金資産	286,638	310,705
その他	1,557,830	1,575,109
貸倒引当金	△14,030	△16,955
流動資産合計	9,813,634	10,171,709
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	6,587,032	7,096,122
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,593,806	1,896,057
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産(純額)	4,816	4,318
建設仮勘定	4,845	9,657
有形固定資産合計	10,156,419	10,972,073
<b>無形固定資産</b>		
のれん	21,186	1,168,809
ソフトウェア	1,110,758	1,122,453
その他	53,640	6,267
無形固定資産合計	1,185,585	2,297,529
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	480,872	499,258
関係会社株式	1,720,674	31,537
長期貸付金	495,784	429,306
長期前払費用	92,840	68,461
敷金及び保証金	1,695,051	1,912,019
繰延税金資産	261,723	248,779
その他	38,721	38,565
貸倒引当金	△15,064	△13,627
投資その他の資産合計	4,770,604	3,214,302
固定資産合計	16,112,609	16,483,905
資産合計	25,926,243	26,655,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,385,906	1,258,519
1年内返済予定の長期借入金	1,826,512	1,990,512
リース債務	2,092	2,092
未払金	996,410	1,464,629
未払費用	867,825	856,220
未払法人税等	1,066,474	319,312
賞与引当金	211,498	102,829
預り金	1,364,073	1,484,174
その他	657,634	845,213
流動負債合計	8,378,428	8,323,504
固定負債		
長期借入金	3,403,836	4,020,308
リース債務	2,964	2,441
繰延税金負債	249,015	279,830
資産除去債務	504,129	631,359
その他	192,758	191,901
固定負債合計	4,352,704	5,125,840
負債合計	12,731,133	13,449,345
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	11,944,096	11,970,798
自己株式	△300,139	△300,297
株主資本合計	12,621,157	12,647,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,905	22,584
為替換算調整勘定	△52,660	43,608
その他の包括利益累計額合計	△46,755	66,192
少数株主持分	620,708	492,375
純資産合計	13,195,110	13,206,269
負債純資産合計	25,926,243	26,655,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	8,079,593	9,959,352
売上原価	6,213,006	7,639,547
売上総利益	1,866,586	2,319,805
販売費及び一般管理費	1,415,589	1,554,164
営業利益	450,997	765,641
営業外収益		
受取利息	2,363	4,047
受取配当金	3	3,679
為替差益	19,460	12,716
その他	15,008	29,328
営業外収益合計	36,836	49,771
営業外費用		
支払利息	3,800	4,787
その他	2,752	6,396
営業外費用合計	6,553	11,184
経常利益	481,279	804,228
特別利益		
固定資産売却益	—	59
特別利益合計	—	59
特別損失		
固定資産除却損	22,717	48,525
減損損失	41,326	66,391
店舗閉鎖損失	—	82,186
特別損失合計	64,044	197,102
税金等調整前四半期純利益	417,235	607,184
法人税、住民税及び事業税	163,782	289,151
法人税等調整額	△49,395	△70,071
法人税等合計	114,386	219,080
少数株主損益調整前四半期純利益	302,849	388,104
少数株主利益	51,199	71,667
四半期純利益	251,649	316,436

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	302,849	388,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,081	16,678
為替換算調整勘定	△13,741	96,269
その他の包括利益合計	△5,659	112,947
四半期包括利益	297,189	501,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,990	429,383
少数株主に係る四半期包括利益	51,199	71,667

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	4,107,720	3,563,411	350,398	58,062	8,079,593	8,079,593	—	8,079,593
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,107,720	3,563,411	350,398	58,062	8,079,593	8,079,593	—	8,079,593
セグメント利益又は損失(△)	△233,590	816,465	△78,181	24,485	529,179	529,179	△78,182	450,997

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,182千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店予定店舗について41,326千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	5,171,581	4,359,652	349,490	78,628	9,959,352	9,959,352	—	9,959,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,171,581	4,359,652	349,490	78,628	9,959,352	9,959,352	—	9,959,352
セグメント利益又は損失(△)	△131,243	1,099,969	△73,771	30,887	925,842	925,842	△160,201	765,641

(注) 1. セグメント利益の調整額△160,201千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店店舗について45,041千円、「カーブス」セグメントにおいて、権利金について21,350千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、「カラオケ」セグメントにおいて、KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE. LTD.、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD.、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE. LTD. 他9社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、1,143,210千円であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、平成26年12月1日開催の取締役会において、下記のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、以下のとおり取得いたしました。

- |              |   |
|--------------|---|
| ① 取得を行う理由    | 資本効率の向上を図るとともに、将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため。              |
| ② 取得対象株式の種類  | 当社普通株式  |
| ③ 取得し得る株式の総数 | 500,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.64%)                   |
| ④ 株式の取得価額の総額 | 1,100,000,000円(上限)  |
| ⑤ 取得期間       | 平成26年12月3日～平成26年12月4日   |
| ⑥ 取得方法       | 株式会社東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け                        |
| ⑦ その他        | 上記、自己株式立会外買付取引による買付けの結果、当社普通株式500,000株(取得価額900,500千円)を取得いたしました。 |